なくそう！高齢者虐待

高齢化社会が進む中、高齢者虐待がクローズアップされています。児童虐待に比べて、表面に現れにくいのが実態です。

殴る蹴るなどの身体的虐待が一番多く、言葉による暴力や侮辱などの心理的虐待、介護の拒否、医療や食事の不提供、財産の横取りや売却といった経済的虐待が主な形態です。また、被虐待者の約8割が認知症高齢者とも言われています。

背景には①世間体を考え、他人の介入を排除しがち②高齢者側に「諦め」の気持ちが強い③利用できる介護サービスの不備などがあるとされます。

2006年4月に「高齢者虐待防止法」が整備されましたが、まだまだ不十分。一人ひとりがご近所のお年寄りに関心を持ち、顔出し、声かけをして見守るよう心がけましょう。

防犯一口メモ